

## IT・通信による日本語教育 ~ちょっとしたそいで触ってみよう!~

現在、日本語教育は、教室内だけでなく、教室以外の場所でも学べる形に広がりを見せています。その方法は、従来型の通信教育はもちろんのこと、通信技術の発展・普及に伴いIT ツールを使ったものも増えています。

そこで、このセッションでは、IT・通信による日本語教育ツールを開発・活用している団体に集ってもらい、各自のツール紹介をしていただきます。

興味のある団体のブースを回って、説明をお聞きください。各ブースにある教材を体験していただいたり、担当者に直接質問したり、意見交換をしたりすることができます。



東京で開催した日本語教育大会での同ブースの様子  
(上) NHK放送技術研究所  
(下) インターカルト日本語学校

## 発表団体

	団体名	教材名
1	株式会社ラーンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家で学べる日本語通信講座（スペイン語版） （平成 26~27 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業／NPO 法人日本ポリビア人協会主催／ラーンズ作成）</li> <li>●社会参加のための日本語通信講座 （平成 27 年度文化庁第三国定住難民に対する日本語教育事業／ラーンズ作成）</li> </ul>
2	国際交流基金 関西国際センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JF にほんご e ラーニング みなと</li> <li>●Nihongo e な</li> <li>●日本語でケアナビ</li> <li>●ウェブサイト「ひろがる もっといろんな日本と日本語」 「アニメ・マンガの日本語」, 「まるごと+（プラス）」</li> <li>●スマートフォン用アプリ「Hiragana Memory Hint/Katakana Memory Hint」</li> </ul>
3	名古屋大学 とよた日本語 学習支援システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●とよた日本語 e ラーニング （会話「市役所・病院・学校」, 読み書き「ひらがな・カタカナ, 履歴書」）</li> <li>●漢字学習アプリ「市役所へ行こう」</li> <li>●導入教育カリキュラムビデオ教材 「医療 , 防災【知識編】, ごみ, 教育【図書館編】, 救急 等」</li> </ul>